

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 764
部 名	環境事業部	課 名	相模台収集事務所	課長名	池上 信行
事務事業名	施設維持管理事業				
予算上の事務事業名	施設維持管理費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	21220	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度
施策名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)
市の財産である事業施設を最小限の経費で維持管理をするため、日常清掃・警備・消火設備・機械設備等の保守点検を行い、安全管理を徹底する。また、経費節減及び環境対策のため、施設管理に必要な光熱水費の効果的執行管理を図る。				事務所職員	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。	不要な電源・スイッチの切り忘れチェックや、冷暖房機の温度調整による室内温度管理を行い、またクールビズ・ウォームビズを実践した。 室内温度 暖房使用時 20℃ (ISO目標は22℃以下) 冷房使用時 28℃ (ISO目標は26℃以上) 電気使用量 58,272kwh				
6 関連・類似事業や他市の状況	直営で収集業務を行っている市は同様の事務が存在する。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	9,646	8,088	12,376	8,330	7,913
一般財源	9,591	8,036	12,253	8,280	7,793
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	55	52	123	50	120
人件費の合計	8,010	8,070	8,050	5,635	5,635
事業コスト合計	17,656	16,158	20,426	13,965	13,548
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	施設維持管理事業			対象名称と単位	職員数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	17,656	16,158	20,426	13,965	13,548
対象数	30	31	29	26	27
単位あたり経費(円)	588,533	521,226	704,345	537,115	501,778
前年度比		0.89	1.35	0.76	0.93

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	スイッチOFF活動		指標式と指標の説明	一日の平均施設内巡回回数 不要な電源スイッチの切り忘れをチェックする	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	2.0	3.0	3.0		
目標	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	電気使用量の減少率（%）		指標式と指標の説明	100 - (当該年度の電気使用量 ÷ 前年度の電気使用量) × 100（%）	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	16.6	(14.6)	1.6		
目標				2.0	2.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		当施設は、昭和47年に建設以来、34年が経過し、施設の老朽化が目立っており、修繕箇所も年々増加している。今後は、施設の効率性等を含めて、大規模改修を行っていく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
省エネの重要性について説明する機会を増やし、更なる意識の高揚及びスイッチOFF活動を強化する。			猛暑・極寒等異常気象時の電気使用量の増加への対応が課題である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			